

参加型の防災活動 防災絵日記づくり

独立行政法人 防災科学技術研究所
防災システム研究センター



様々な地域の防災活動では。。。。

- 平常時の防災活動は、成果が見えにくい
- 継続的に活動に取り組むのは容易ではない
- 防災活動の担い手が高齢化している
- 若手の巻き込みも容易ではない



防災絵日記づくり



時間の流れ

- ・ 災害時の課題を4コマの絵日記に作成し、災害時の児童の引き取りをはじめ、学校での避難生活について、子供の目線から絵日記をつくる
- ・ 絵日記の状況を説明したあと、各コマに対して、自分がどうするのか、ともだち、親、先生はどう思うのかなど、いろんな立場から考えて書く
- ・ 完成した絵日記は、みんなの前で発表して景品と拍手を！

防災絵日記づくり



防災絵日記づくり



防災絵日記づくり

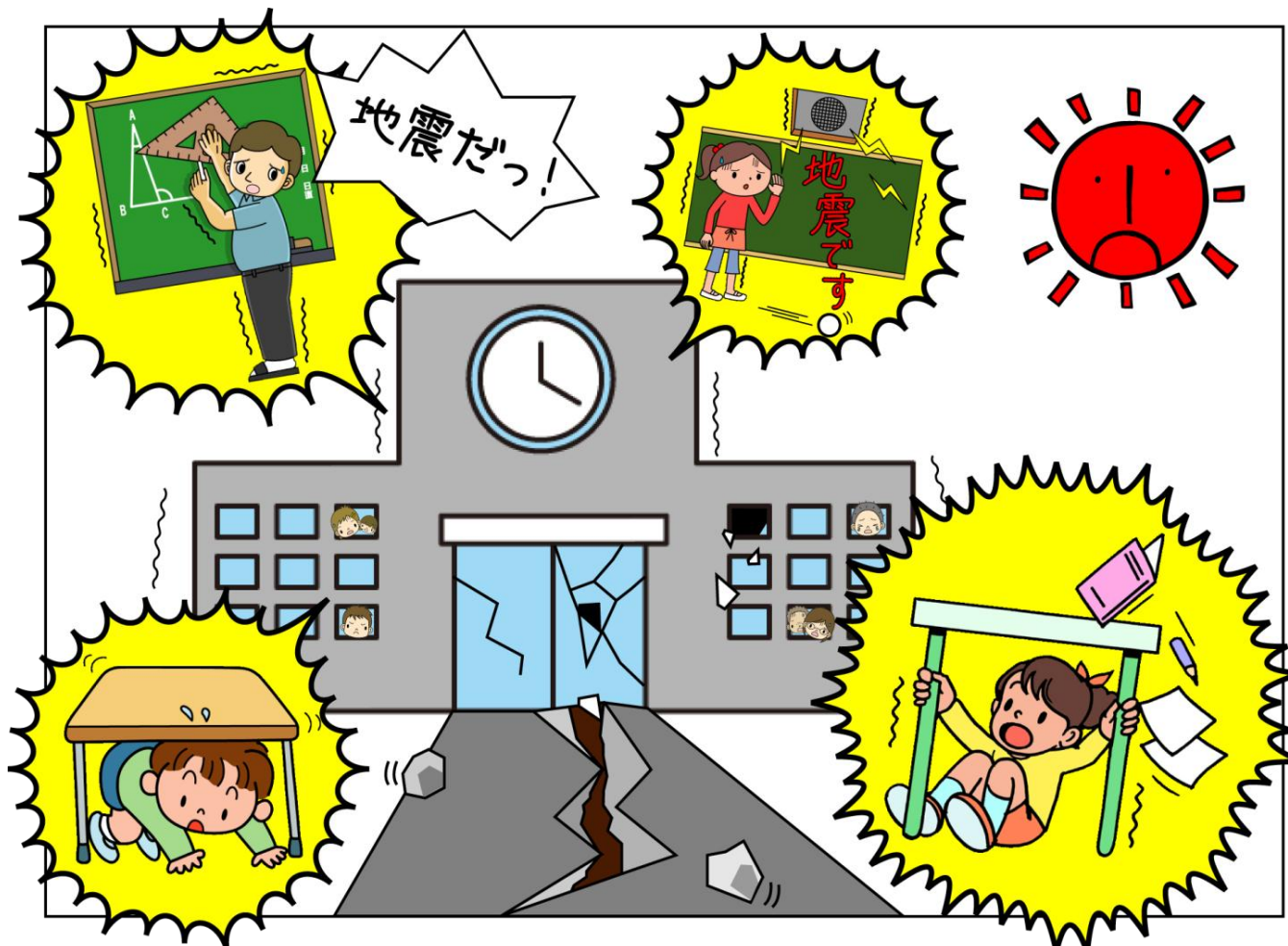


防災絵日記づくり



防災絵日記づくり

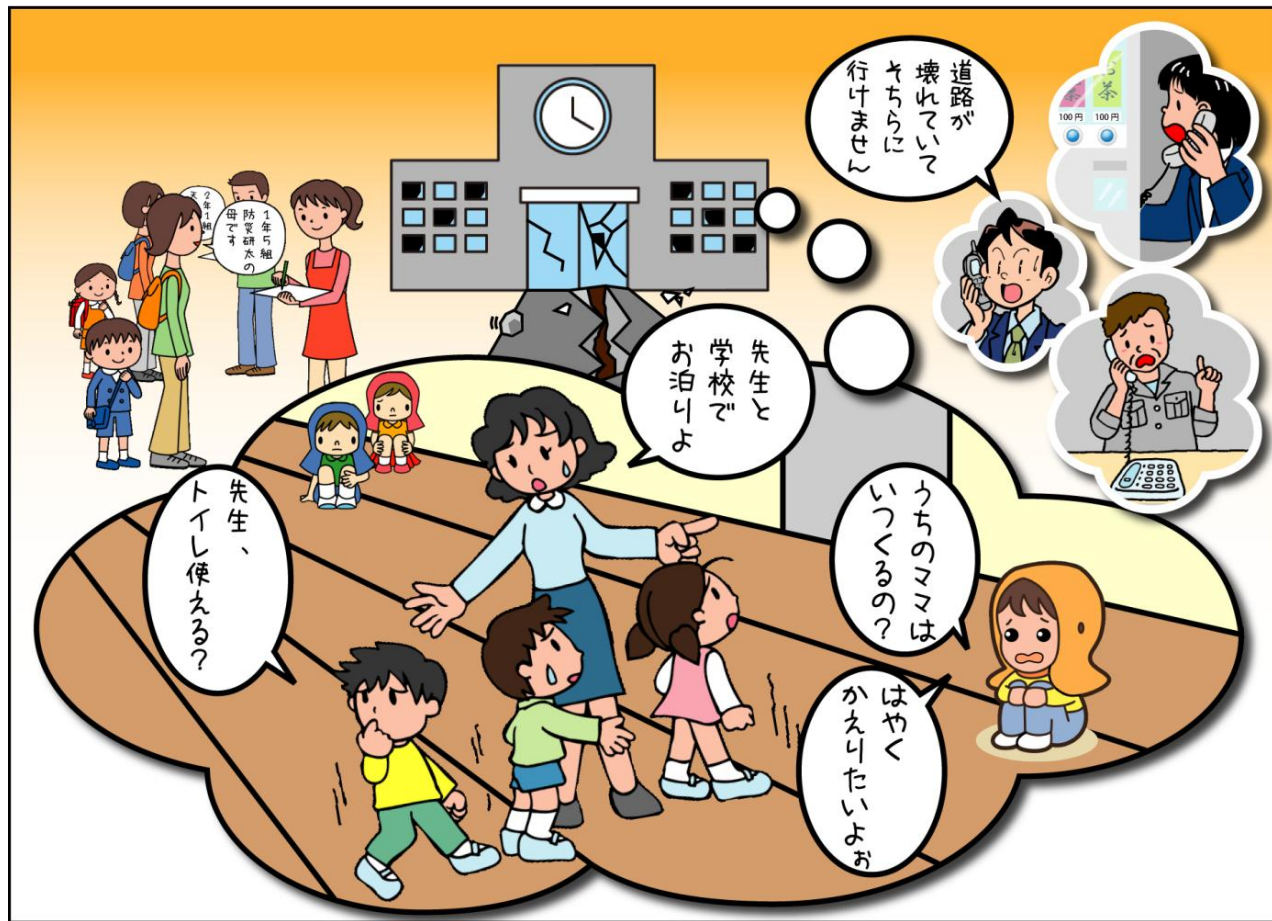
①地震（じしん）だ！



学校（がっこう）で授業（じゅぎょう）中、地震（じしん）がおきました。みんなはどうしますか。

防災絵日記づくり

②だれもむかえにこない



お母さんがむかえにきてお家に帰る子がいます。みちがこわれて、会社（かいしゃ）にいるお母さんとお父さんがむかえにこられない子もいます。教室（きょうしつ）で先生（せんせい）とともにだちと一緒に（いっしょ）に朝（あさ）まですごします。

防災絵日記づくり

③お家がこわれてかえれない



朝（あさ）になってお父さんがむかえにきて、お家にかえる子がいます。お家がこわれてかえれない子は、家族（かぞく）と一緒に（いっしょ）に避難所（ひなんじょ）となった学校（がっこう）の体育館（たいいくかん）へいきます。

防災絵日記づくり

④避難所で（ひなんじょ）で生活（せいかつ）する



避難所（ひなんじょ）となった学校（がっこう）の体育館（たいいくかん）には、知らない人たちがたくさんあつまっています。おじいさんおばあさんたちもたくさんいます。